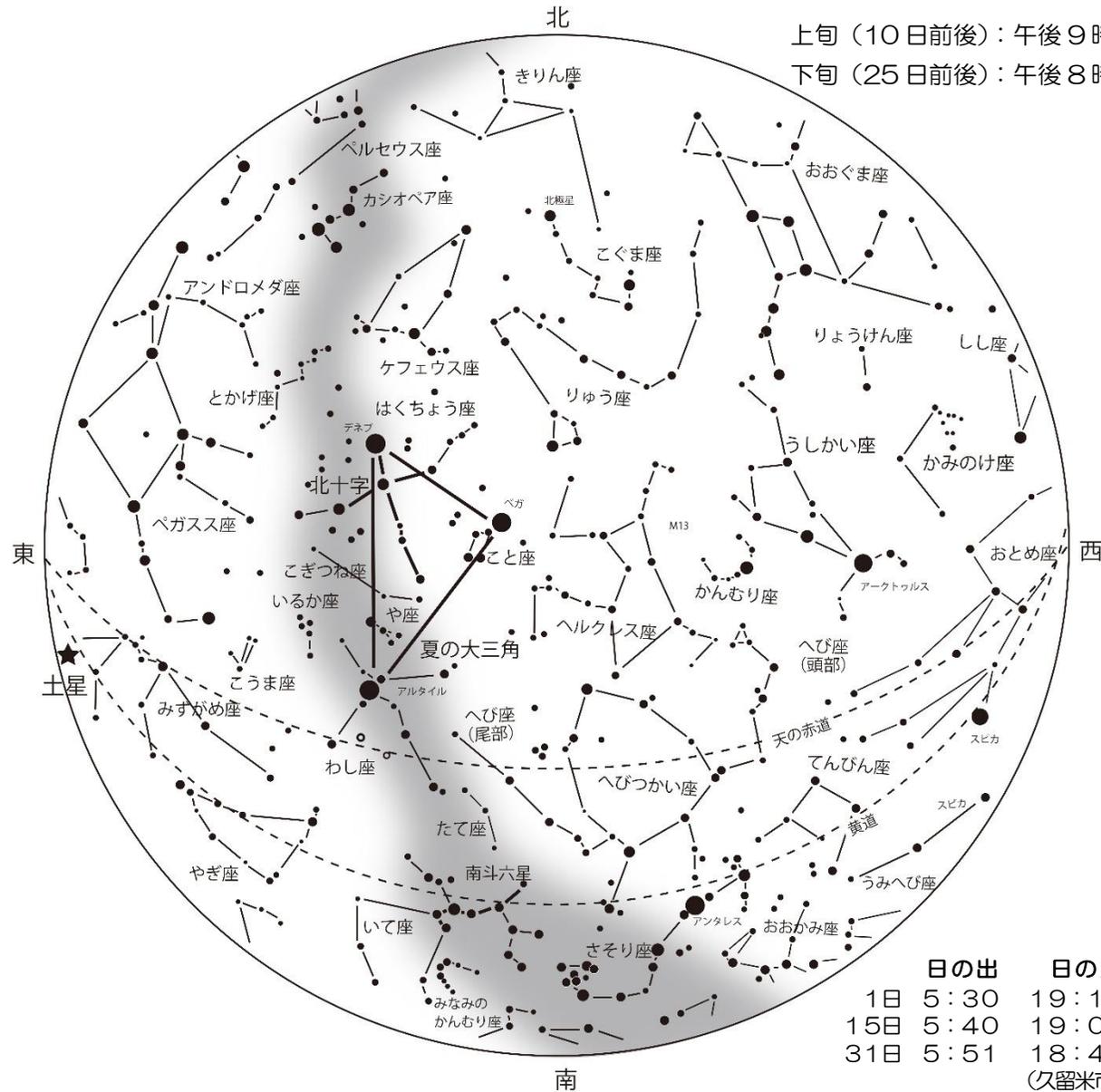


令和6年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬（10日前後）：午後9時ごろ
下旬（25日前後）：午後8時ごろ

★8月の星空案内

8月に入り、夏本番となりました。8月の夜空では夏の星座たちが見ごろとなります。夏の星座を見つけるには、まず明るく輝く3つの1等星を結んでできる『夏の三大角』を探しましょう。一つ目の星は『夏の三大角』の中で一番明るい、こと座のベガです。ベガは上図の時間帯に頭の真上あたりでひととき明るく輝き、星座を形づくる星の中で5番目に明るく、見つけやすい星です。こと座は、ベガとすぐそばにある4つの星でつくる小さな四角形の星の並びを目印に見つけることができます。二つ目の星は、わし座のアルタイル。ベガから南東の方に目線に移すと見つけることができます。わし座はアルタイルと両脇にある2つの星の並びを目印に見つけることができます。三つ目は、はくちょう座のデネブ。ベガから北東の方に目線に移すと見つけることができます。はくちょう座は北十字とよばれる十字の星の並びを目印に見つけることができます。ぜひ『夏の三大角』から、こと座、わし座、はくちょう座を探してみてください。

また、南の空低いところへ目線移すと、赤く輝くさそり座の1等星のアンタレスが輝いています。さそり座は、アンタレスを含んだアルファベットのSの字のような星の並びを目印に見つけることができます。また、さそり座の東にはスプーンのような形をした6つの星の並び、南斗六星を目印に、いて座を見つけることができます。

夏の三大角は街明かりのある久留米でも十分見つけることができます。夏の夜風に吹かれながら、夏の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】（☆マークは、今月のおすすめです。）

水星（0.2等前後）	：しし座付近	観望に適さない。
☆金星（-3.9等前後）	：しし座→おとめ座付近	日の入り後、西の低空で輝く。
☆火星（0.8等前後）	：おうし座付近	日の出前、東の空で輝く。
☆木星（-2.2等前後）	：おうし座付近	日の出前、東の空で輝く。
☆土星（0.7等前後）	：みずがめ座付近	真夜中、南東から南の空で輝く。

注目の天文現象（8月）～木星・火星・月の接近の様子を観察しよう～

8月に入り、未明から明け方の空で木星と火星が見やすくなってきました。この二つの惑星は、日ごとに見える位置が近づいていき、8月15日未明（14日深夜過ぎ）に最も接近します。最接近する時間は、地平線よりも下にあり残念ながら見ることはできません。しかし、二つの惑星は8月下旬になっても、比較的近い位置に見えています。

そして、8月28日午前2時ごろに、その二つの惑星にさらに月が接近し、三つの明るい天体が近づく、とても目をひく光景が見られそうです。

三つの天体が近くに見える28日は、時間経過とともに月が木星側から火星側へと移動していきます。夜半過ぎ、空に昇ってきてすぐの頃の月は、木星と火星の見かけの距離がほとんど変わりませんが、夜明けの頃の月は、火星の方に少し近づいて見えます。

夜遅い時間ですが、三つの天体の接近の様子を観察してみてもいいのではないでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	日	● 新月 (20:13)	13	火	☾ 上弦 (00:19)
10	土	伝統的七夕 (旧七夕)	20	火	○ 満月 (03:26)
12	月	ペルセウス座流星群が極大 (条件：良)	26	月	☾ 下弦 (18:26)